

写真展「石狩川、橋と堰」

石狩川

- 1894年(明治27年) 364km (推定)
- ショートカット 蛇行部分を直線化
 - 29本の捷水路
 - 大正7年～昭和6年 生振捷水路
 - 大正13年～昭和8年 当別捷水路
 - ……
 - 昭和39年～昭和44年 砂川捷水路
- 現在の長さ 268km (全国3位)
- 流域面積 14,330km² (全国2位)

橋と堰

橋

収録・展示済	
自動車橋	65
鉄道橋	7
人道橋	8
水管橋	3
廃橋	3
未収録	
源流の林道橋	4 ?

堰

収録・展示済	
多目的ダム	1
頭首工	9
発電所取水堰	5
床止工ほか	2
未収録	
源流の堰	2 ?

そのほか (HPに収録)

導流堤, 水制工
支流の橋 (茨戸川, 黒岳沢川)

上流と下流の境は?

かつてアイヌ語では, カムイ・コタンを境に, これより上流の上川盆地あたりに住む人々をペナ(ニ)ウンクル, 下流の滝川, 深川あたりの人々をパナ(ニ)ウンクルと呼んでいたらしい。

神居古潭はその上下の流れを区切る狭隘にして激流の地。まさに境として相応しい。

現在石狩川の管理を行っている北海道開発局でも, この地を境に, 旭川市より上流域を旭川開発建設部が担当し, 深川市より下流域を札幌開発建設部が担当している。

ところで, 神居古潭よりやや下流では石狩川が市界とされていて, 神竜水管橋, 神納橋は, 左岸が旭川市, 右岸が深川市となっている。これらの橋は上流とすべきか下流とすべきか?

景観などの気分から, 一応河口から神納橋までを下流, 神竜水管橋から上を上流とすると, 今回展示した86ヶの橋のうち25ヶが下流の橋, 61ヶが上流の橋ということになる。

【花畔・網】のこだわり

- 2007年 “花畔”, “ばんなぐろ” にこだわる
- 2008年 こだわりの対象は石狩市全域へ
朝陽夕陽, 並木, 高欄 etc
“いしかり”つながりで石狩川へも
- 2009年 いしかり浜(はまなすの丘)徘徊
河口砂嘴での出会いを楽しむ
- 2010年 引き続き, いしかり浜, いしかり川
茨戸川の橋, 女房のWeb句集 など
- 2011年 ふたつの展示会で忙しい

石狩川の橋と堰 遍歴

- 2008年 石狩河口橋, 札幌大橋 から始まる
神居大橋, 神竜頭首工 まで収録
- 2009年 旭川(あるいは上川)遠征 7回
伊納大橋 から 白雲橋まで収録
- 2010年 層雲峡・橋ツアー 4回
上川発電所取水堰 から 白雲橋
(ヤンベタップ川) まで収録
- 2011年 源流の沢・層雲峡本流林道の橋
(の予定だったが林道決壊で断念)

美浦渡船の存続を!

かつて北海道には150近い渡船場があったという。
石狩にも1978年にその歴史の幕を閉じた石狩川河口渡船場をはじめ、現茨戸川などに数多くの渡船場があった。
しかし自動車文明の席捲の中で、架けられた橋と引き換えに渡船場は次々に姿を消していった。
そして道内でただひとつ残る美浦渡船も、いま消え去ろうとしている。
今年が最後のチャンスかもしれない。
多くの皆さんに、石狩川の川面の風を受け爽やかに疾走する『美浦丸』を、ぜひ肌で体験していただきたい。
橋の写真を撮り続けながら、貴重な歴史遺産も失いたくないと思う。



美浦丸

【美浦渡船の問い合わせは右記へ】 浦臼町役場 産業建設課 管理係 0125-68-2113(直通)

高欄に刻まれた詩



2 札幌大橋
詩 葦沢 憲吉



49 愛山橋
詩 百田 宗治

橋, アラカルト

石狩川に架かる90近い橋を, ここではいろいろな角度から切り分けて並べてみた。

ほかにも, 凝った親柱, 橋とともにある彫像, 高欄に埋め込まれたレリーフ, パネルなどなど, 目を惹くものは数多くある。橋を造った人たち, あるいは地域住民の熱い思いが伝わってくる。これらについても機会があればまとめてみたいと思っている。

最後にお断り。。。

ふと気がつけば生きてきて68年(うち33年が石狩です)。

橋に魅せられたのはほんの4年前から。それまでは, 石狩川にも橋にも無関心だった自分です。

ですから, 間違った記述も多々あるかもしれません。

お気づきになりましたらぜひご指摘ください。



長い道路橋 800m以上

1	1	石狩河口橋	1,412.7m
2	2	札幌大橋	985.3m
3	6	美原大橋	972.7m
4	4	新石狩大橋	917.8m
5	5	石狩大橋	894.0m
6	21	深川大橋	867.0m
7	7	たっぷ大橋	825.0m
8	10	美浦大橋	822.6m
9	13	砂川大橋	821.0m
10	8	月形大橋	813.8m
11	17	江竜橋	808.0m
12	11	奈井江大橋	807.0m

古い現役道路橋

1	34	旭橋	1932. 11	2009. 塗装
2	8	月形大橋	1955	1969. 改修
3	19	妹背牛橋	1958. 10	新橋計画中
4	44	比布大橋	1958. 11	1972. 改修
5	85	石狩橋	1960. 11	
6	86	末広橋	1960. 11	
7	15	石狩川橋	1962. 11	1972. 改修
8	22	深川橋	1962. 11	2011. 改修中
9	25	神納橋 (下流側)	1963. 06	1987. 二連橋化
10	50	中愛別橋	1963. 11	1988. 改修
11	57	上川大橋	1963	1983. 改修
12	74	神仙橋	1963. 12	1973. 改修

新しい道路橋

1	10	美浦大橋	2011. 03	
2	35	金星橋	2009. 03	
3	59	大雪大橋	2005. 12	旭川紋別道
4	6	美原大橋	2005. 03	
5	53	安足間大橋	2004	旭川紋別道
6	54	愛山溪大橋	2004	旭川紋別道
7	7	たっぷ大橋	2004. 09	
8	43	麻布橋	2002. 11	
9	33	新橋	2002. 08	
10	11	奈井江大橋	2002. 03	
11	14	滝新橋	2002. 03	
12	30	近文大橋	2000. 12	

歩道がなくてコワーい道路橋

		幅員 m
1	4 新石狩大橋 国道275号の拡幅に伴って架け替えは視野の中か?	8.0
2	8 月形大橋 (トラス部) 新橋建設中 2013年度完成予定	5.5
3	17 江竜橋 新橋建設中 2011年度完成予定	6.0
4	19 妹背牛橋 架け替え計画が進行中らしい	5.5

鉄道橋

			長さ m
1	3 石狩川橋梁	札沼線	1064.0
2	18 第1石狩川橋梁	函館本線	490.5/495.0
3	31 第2石狩川橋梁	函館本線	297.4/294.9
4	41 第3石狩川橋梁	宗谷本線	349.6
5	48 第4石狩川橋梁	石北本線	301.6
6	51 第5石狩川橋梁	石北本線	159.3
7	56 第6石狩川橋梁	石北本線	128.4

水管橋

		長さ m	構造
1	9 大富揚水機場水管橋	?	アーチ橋
	石狩川を跨いでいるのではなく、左岸河川敷に架かっている		
2	26 神竜水管橋	256.0	アーチ橋
	神竜頭首工からの灌漑用水を通す		
3	73 石狩川水管橋	?	トラス橋
	層雲峡温泉街の上水道と思われるが定かではない		

吊橋

石狩川には、自動車も走行可能な吊橋は架かっていない。
したがってここにリストアップした吊橋はすべて人道橋である。

		年	長さ m
1	27 神居大橋	1972	107.2
2	49 愛山橋	1988	239.0
	鋼板桁橋であるが、一見吊橋に見える装飾を施してある		
3	55 七戸の吊橋 (江差牛吊橋)	1972	60.0
4	60 菊水10線の吊橋 (日東吊橋)	1985	49.4
5	61 菊水12線の吊橋	1966	49.5
6	77 かつら橋	1967	56.0

石狩川に架かる橋は長大なものばかりというイメージがあった。
橋をもとめて上流へと溯るにつれ、吊橋のみならず林道橋などひっそりと息づくひなびた橋の存在を知って感動した。
皆さんも急流に架かる吊橋の揺れを体感してみたいかが・・・

廃橋

いまではまったく使われていないか、通行禁止の橋。

大函橋以外は、洞爺丸台風(1954)での風倒木処理のために急遽架けられた林道橋。

		年	長さ m
1	67 碧水橋	1955	61.5
2	79 大函橋	1951	56.5
3	80 清和橋	1955	51.0

”石狩川第四号橋”とも呼ばれる。

いまでは近寄ることも困難。橋の上にも草木が生い茂る。

このふたつの橋は旧・大函トンネルを挟んでその両側に架かり、旧・国道39号の橋として北見方面への物流の重責を担った。

新大函トンネルが完成(1974)し国道39号が整備されると、その役割をライマン橋、清瀬橋に譲った。

現在はアプローチが落石危険などのため、通行禁止。

木材搬出のための林道はその後も源流の多くの沢沿いに延びていった。

それに伴って、1960年完成の石狩橋、末広橋(いずれも現在は上川町道橋)をはじめ、さらに上流にいくつかの林道橋が架けられていまなお健在である。

農業用水を取水する頭首工

		年	河口から
1	1 石狩川頭首工	1963	55.3km
	約330m下流に新頭首工を建設中。2013年度供用開始予定		
2	2 旧花園頭首工	1964	121.4km
	1987年、農業用取水堰としての役割は終わっている。		
3	3 北空知頭首工	1986	125.2km
4	4 神竜頭首工	1990	142.2km
5	6 近文頭首工	1978	169.3km
6	7 大雪頭首工	1971	178.4km
7	8 石狩川愛別頭首工	2005	182.1km
8	9 愛別頭首工	1971	186.2km
9	10 中愛別頭首工	1962	190.2km

発電用水を取水する堰

		年	河口から
1	11 愛別発電所取水堰	1971	194.1km
2	12 安足間発電所取水堰	1927	201.5km
3	13 上川発電所取水堰	1929	210km
4	14 真勲別発電所取水堰	1941	217km
5	15 層雲峡発電所取水堰	1954	230km
	取水堰からの発電用水は、直線距離にして5~10kmほど下流に設置された発電所まで水路によって導かれる。		
6	16 大雪ダム	1975	235km
	大雪ダムは、発電用水のほか、灌漑、水道用水の取水、洪水調節などの多目的ロックフィル・ダムである。		